

第9回特別支援学校作業技能大会に参加して

今年は、8月5日（木）に郡山支援学校と郡山労働福祉会館の2会場で開催されました。作業技能大会は、特別支援学校高等部の生徒が一堂に会して学習の成果を発表し、外部専門家からの客観的な評価を受けることを通して、生徒の社会参加・自立につながる学力や技術・意欲の向上を図り、自信をもって生きることができる生徒の育成を目指す大会です。本校からは、12名の生徒が参加しました。

高等部3年1組 O・R <ビルクリーニング部門>

今年は、コロナの影響で十分な練習ができないところもありましたが、ベストクリーン賞をとれるようにスピードと正確さを心がけて練習に励みました。本番で頑張ったことは、テキパキとした行動と丁寧さです。人に見られていたので、緊張して体が固まってしまうこともありました。悔しかったことは、ベストクリーン賞を取れなかったことです。自分では気付かなかったところでミスがありました。この悔しかった経験を忘れずに、今後は作業のクリーン班で後輩の手本となるように頑張りたいと思います。

高等部3年2組 W・S <ビルクリーニング部門>

ぼくは、初めて作業技能大会に参加しました。練習日が少なくなってしまったことで、作業の工程を上手く進められるか不安がありました。返事や「準備ができました」など報告することを忘れないようにしました。すごく緊張しましたが、当日はお母さんが応援に来てくれました。また、先生から声をかけてもらったので、安心して取り組むことができ2級を取ることができました。最後まであきらめないでがんばることができてよかったです。ご指導いただいた皆さんに感謝したいです。ありがとうございました。

高等部2年2組 Y・R <ビルクリーニング部門>

私は、今回初めて作業技能大会に参加し、ダスタークロス部、モップがけ部、テーブル拭きの部全てにおいて1級をいただくことができました。夏休み中の練習が感染症の影響で少ない日数になってしまいましたが、その分、練習の一日一日を大事にしてがんばりました。本番はとても緊張しましたが、先生方からいただいたアドバイスを思い出しながら本番に臨むことができました。この大会での経験は、日々の生活や卒業後の生活においても役立つと思いました。今後も、もっと多くの経験や知識を増やしてより多くのことを身につけ、自分のできることを増やしていきたいです。

高等部2年1組 W・N <喫茶待遇部門>

私は、喫茶接遇部門に初めての参加をしました。コロナの影響もあり練習時間が少なく、不安でいっぱいでしたが、指導してくださる先生方や同じ喫茶接遇部門に出場する先輩からアドバイスをいただいたおかげで気持ちが軽くなり、検定に向けて落ち着いて準備をすることができました。当日は自分の順番が最後だったこともあり大変緊張しましたが、練習で行ってきた事を思い出して、最後まで集中して頑張ることができました。1級を取得することができ、とても嬉しく思いました。応援してくれた家族、ご指導くださった先生方、ありがとうございました。

福祉サービス事業所見学を終えて

夏休みを利用して、進路指導に生かすために教員対象の事業所見学を実施しました。今年度は、就労継続支援B型事業所「ワークスペースとみの」を見学しました。

「ワークスペースとみの」は、伊達市梁川町の北部にある2021年4月にスタートしたばかりの新しい事業所です。母体となる「社会福祉法人嘉啓会」は「人と地域との交流を図りながら、子どもたちが安心して生活することができるように」「高齢者が住みなれた地域で自分らしい暮らしが出来るように」という理念のもと、以前より保育園や老人福祉施設を地域密着型の施設を運営しています。

「ワークスペースとみの」は旧富野小学校の校舎を修繕し活用しています。エントランスには児童が学習していた際の賞状や卒業制作が展示されており、小学校校舎時代の面影が色濃く残っています。また、施設2階には特別養護老人ホームが設置されています。

本校の父母と教師の会会長を長年務められた保科さんが施設長をされており、施設の説明を丁寧にしていただき、質問にも熱く答えて下さいました。

施設設備は整理されており、個人用ロッカーやシャワー室もあり、とても清潔感がありました。

作業内容の見学では、水耕栽培による野菜や食用花の生産をしており、施設内で利用者の方と指導員さんが連携して作業されており、LEDの光に照らされ、ルッコラやリーフレタスなどの野菜が青々と葉を茂らせていました。食べてみると、甘さがあり柔らかくおいしかったです。現在は販路も拡大している最中とのことでした。他に、メダカの養殖やその用具づくりなどにも取り組んでいる様子も見学しました。他の作業としては、パソコン操作のスキルアップ、敷地内の清掃や除草作業、洗車などに取り組んでいるとのことでした。利用者スタッフの方が一緒になり仕事に取り組む中で働く力とその喜びを育てている様子にとっても好感がもてました。今後は食用花(エディブルフラワー)を活用したお菓子作りや清掃活動と、一層活動の幅を広げていきたいということです。

利用者の対象地域は立地する伊達市や隣接する国見町、桑折町はもとより、県境をまたいだ白石市や丸森町となっています。

小学校校舎で食堂として活用していたスペースを利用した、地域の方などと交流を図る空間(ふらっとサロン)も併設されています。また、施設内には地域の方の作品が多数掲示されています。地域にある学校が統合整理されている昨今、地域密着型としてこの施設が地域の中心となって利用者や地域の方との交流の場ともなっていくことができるのではないかと感じました。

